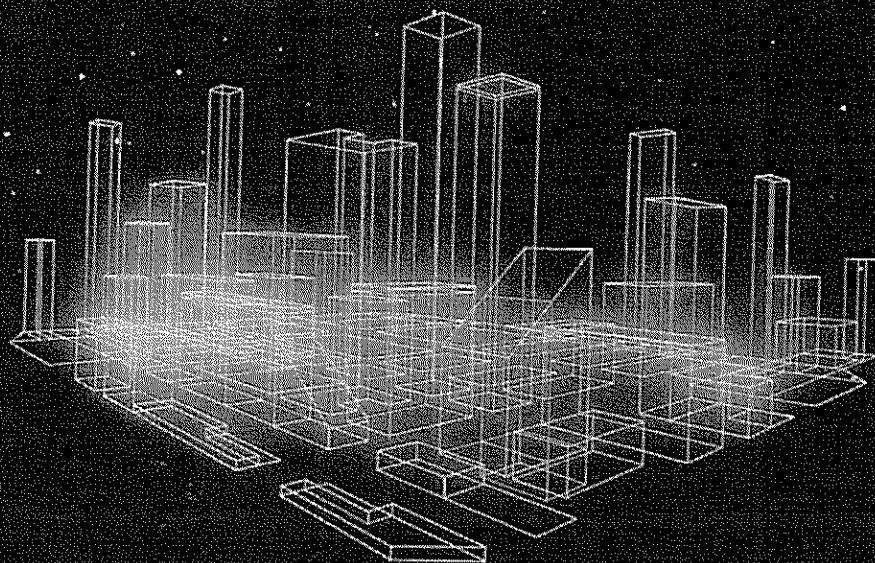


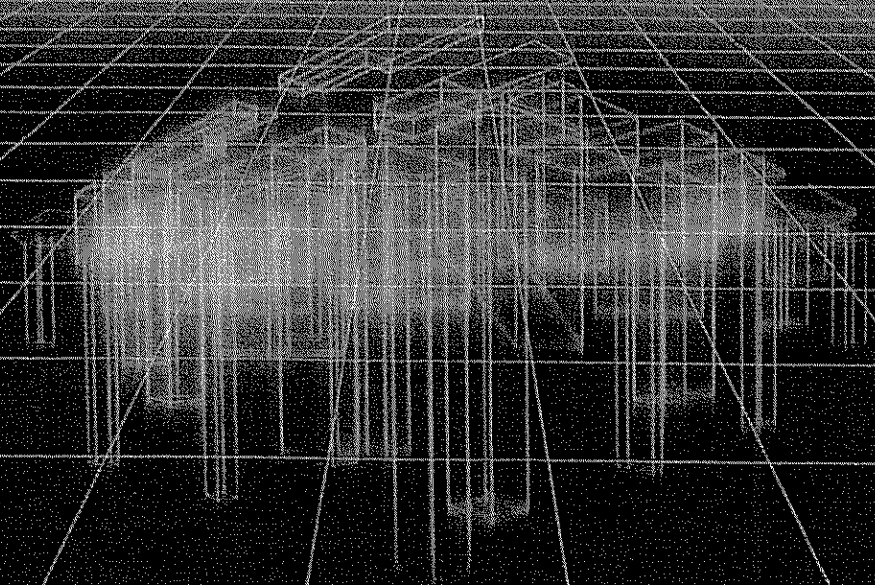
SAM STEEL CHECKER

ミルシートと鋼材現品との照合に...



切断後の鋼板の確認に...

混在した異種鋼材の仕分けに...



赤井物産株式会社

サム・スチールチェッカーの 3大特長

- 非破壊で測定可能
- ポータブル(特にM-100型は小型軽量)
- 熟練不要(1回の測定時間は約5秒)

サム・スチールチェッカーは
こんなときに使います。

用途①ミルシートと鋼材現品との一致を確認したいとき。

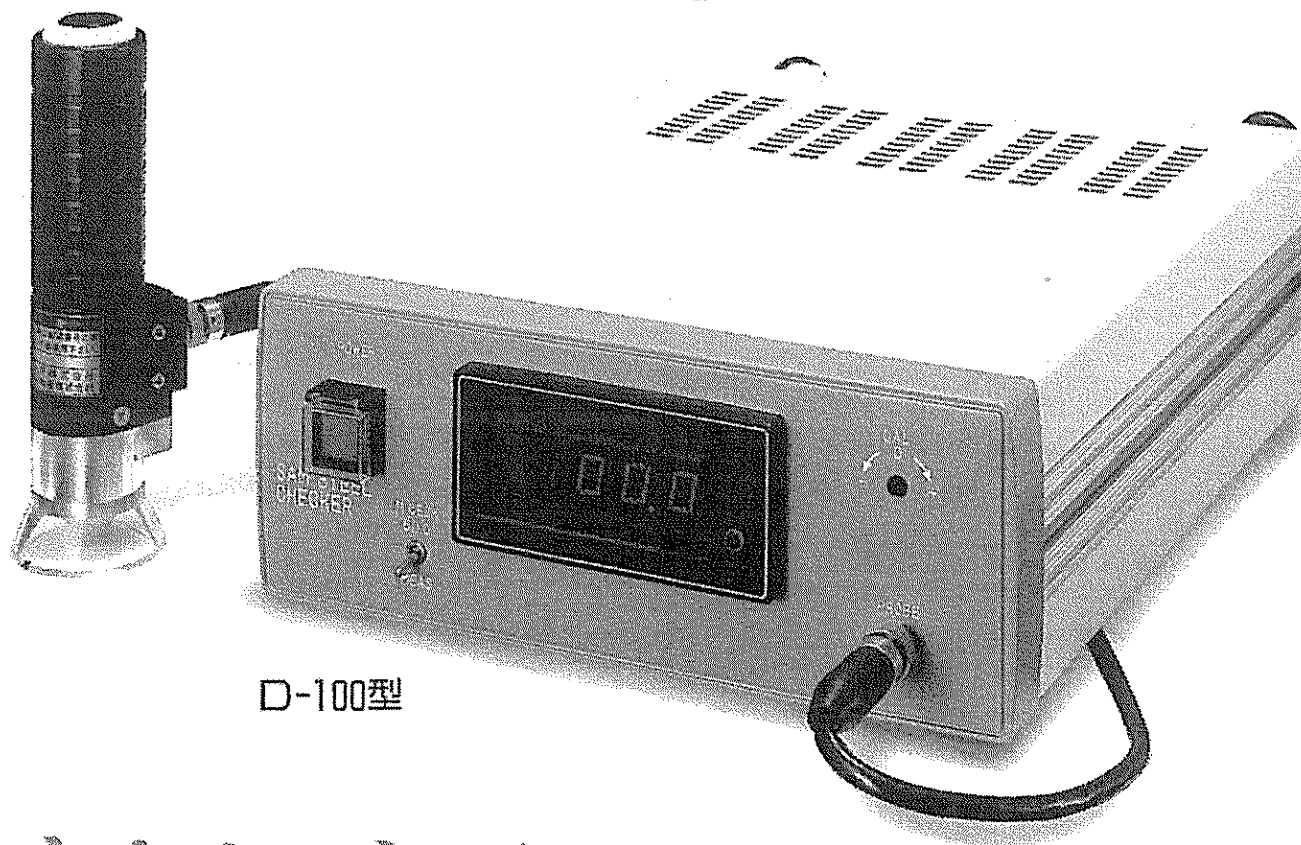
用途②切断した鋼板等が切断前と同一材であることを確認したいとき。

用途③材質の異なる鋼材を仕分けしたいとき。

用途④材質不明の鋼材の材質を推定したいとき。

原理

「サム・スチールチェッカー」は、鋼材等の電気抵抗率を測定することによって、間接的にその材の化学成分を確認し、材質判別の手掛かりとするものです(方法特許出願中)。



D-100型

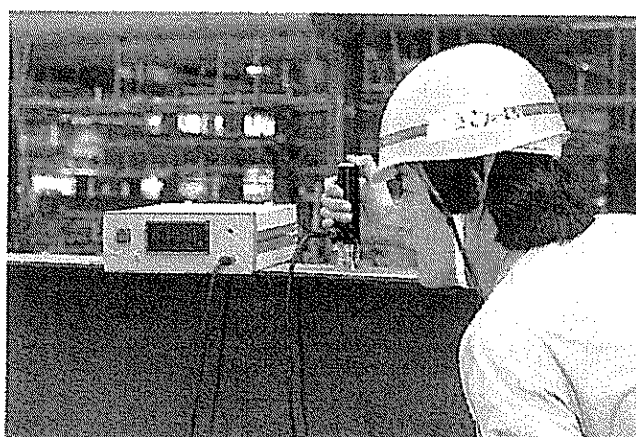
あなたがお使いになる
鋼材の材質に間違いは
ありませんか

異材混入を防止するために——

「サム・スチールチェッカー」は、金属、特に鋼材の材質



M-100型



D-100型

測定に当たっては 次の注意が必要です。

- 鋼材表面の黒皮、錆を除去すること。
- 測定箇所の水ぬれはふき取ること。
- 鋼材に交流電流が通電していないときに測定すること。
- 鋼材温度が5℃～35℃の時に測定すること。
- 同一箇所でも3回以上測定した値の平均値を取ること。
- 測定箇所の鋼材厚さは2mm以上であること。
- 測定箇所として急熱急冷された部分避けること。
- プローブの取り扱いには慎重に行ないセンサー針を折損することのないよう注意すること。

M-100型

表示方法：メーター指針式
外形寸法：100×170×38(mm) (本体寸法)
重量：約1.5kg (本体及びプローブ)
電源：バッテリー内蔵
測定可能範囲：建設用鋼材一般

D-100型

表示方法：デジタル表示式
外形寸法：240×300×100(mm) (本体寸法)
重量：約4.5kg (本体及びプローブ)
電源：AC100V
測定可能範囲：軟鋼からステンレスに至る各種鋼材及び合金
オプション：AC・DC兼用電源
(但し重量は約8kg)



M-100型

を非破壊で簡単に識別するために開発されました。

STEEL ANALYZING METHOD TECHNICAL LABORATORY

サム・スチールチェッカー(M-100型・D-100型)は、
財団法人日本建築センターの検査機器性能評価委員会から評
価を受けております。

評価書番号 BCJ-59-検機1

昭和60年3月28日付

評価内容の骨子

この機器は以下のような性能を有するものである。

1. 建築基準法令に規定する一般構造用鋼材のうち
のSS41材と溶接構造用鋼材のうちのSM50材に
ついて、現品が鋼材規格証明書の対象物である
か否かを判別するための必要条件を与える。
2. 切断加工した鋼材などが、切断前と同一材であ
るか否かを判別するための必要条件を与える。

なお、評価報告書には判別のための電気抵抗率推定式
や測定的前提条件等も記載されておりますので、御一
報くだされば資料を差し上げます。

※サム・スチールチェッカーは、米国特許を取得して
おります。「構造用圧延鋼材鋼種の非破壊識別方法」
(特願NO.567321)
(日本特許番号第1635367号)

製造発売元



赤井物産株式会社

本 社 〒550-0014 大阪市西区北堀江1丁目1番18号
大阪中央ビル TEL (06) 538-3621(代)
東京支店 〒101-0031 東京都千代田区東神田1丁目10番6号
幸保第二ビル TEL (03) 3862-5471(代)

技術協力：三菱電機株式会社